インフラ整備70年 講演会(第61回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

未来を創った「琵琶湖総合開発事業」プロジェクト

—そして、さらなる次代の琵琶湖・淀川流域の安全・安心・安寧にむけて—

<講演内容>

- 1 プロローグ(千年の都京都と琵琶湖・淀川流域)
- 2 琵琶湖総合開発事業の経緯とその意義
- 3 事業の成果及び評価
- 4 今後の社会・経済・環境の変化を踏まえた
第2世代プロジェクト

<講演者>(講演順)

- 原 稔明:元水資源機構関西支社長
越智繁雄:元建設省近畿地方建設局河川部河川計画課長
谷本光司:(一社)近畿建設協会理事長
瀧 健太郎:滋賀県立大学教授
森下郁子:(一社)淡水生物研究所長
常山修治:国土交通省近畿地方整備局河川部長

写真:地理院地図Globeより作成

2025年 7月24日 (木)

講演会:16:00～18:00 意見交換会:18:00～19:00

場 所:政策研究大学院大学想海樓ホール (会場・WEBのハイブリット形式)

定員:会場 200名 WEB 1000名

主催:(一社)建設コンサルタンツ協会 後援:(公社)土木学会

琵琶湖総合開発事業は、昭和47年に制定された「琵琶湖総合開発特別措置法」に基づき、琵琶湖の水質と自然環境の保全を図り、洪水・渇水被害の軽減、水資源開発、琵琶湖流域の開発を目的として、わが国で初めて上下流ともの発展を目指して地域開発と水資源開発を流域一体的に進めた事業である。

国、地方公共団体が実施する「地域開発事業」と水資源開発公団（現水資源機構）が行う「琵琶湖治水及び水資源開発事業」（琵琶湖開発事業）により、25年（四半世紀）の期間をかけ、総事業費約1兆9千億円を費やして、近畿圏の発展はもとより、我が国全体の今日と未来の創造に挑んだ空前の大プロジェクトである。

ここでは琵琶湖総合開発の経緯に加えて、本事業により琵琶湖・淀川流域にもたらされた効果や次世代に向けた取り組みについて紹介する。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

インフラ整備70年講演会(第61回)
未来を創った「琵琶湖総合開発事業」プロジェクト
—そして、さらなる次代の琵琶湖・淀川流域の安全・安心・安寧にむけて—

《講演者》

原 稔明 : 元水資源機構関西支社長
越智繁雄 : 元建設省近畿地方建設局河川部河川計画課長
谷本光司 : (一社) 近畿建設協会理事長
瀧 健太郎 : 滋賀県立大学教授
森下郁子 : (一社) 淡水生物研究所長
常山修治 : 国土交通省近畿地方整備局河川部長

講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 会場 (講演会2000円・意見交換会2000円)、WEB (講演会無料) どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP (<https://www.icca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報**はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。**
- **許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。**

<会場参加について>

- 申込完了者は、**7/17(木)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせていただきます (振込が期日より遅れますと後日郵送となります)。

三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944

イッパソジャダノハウジソケンセツコンサルタンツキョウカイクウシュウカイヨウグチカイチョウナカムラツミ

(複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の間合わせ先メールにご連絡をお願いします)

<WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- **受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)**

問合せ先 E-mail : infra70@icca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであると**いって過言ではありません。**それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第62回講演会 2025年9月2日(木) 政策研究大学院大学想海樓ホール

テーマ：しまなみ海道の建設 (仮称)

講演者：本州四国連絡高速道路(株)他

* 会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です